

# 「事業名：東京大学ドローン産業振興及び人材育成プロジェクト」 平成30年度補助事業の実績・成果

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 連携市町村：南相馬市

連携市町村との協定締結日：平成31年2月5日 現地拠点：南相馬市原町区萱浜巢掛場45-76

## 事業のポイント

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻が有する「ドローン」に関する「知」を「復興知」として福島県浜通り地域等に誘導・集積するため、ドローンの教育・研究活動を展開するとともに、大学・福島自治体間の相互交流、ネットワークづくりを推進することを目的とする。

## 今年度の活動実績

東京大学工学部「創造的ものづくりプロジェクト」、大学院工学系研究科「創造性工学プロジェクト」における講義科目「東大ドローンプロジェクト」の一環として、教員、講義受講生とともに南相馬市の小中学校へ出向き、ドローン工学の出張授業を実施。

・9月4日、10月2日

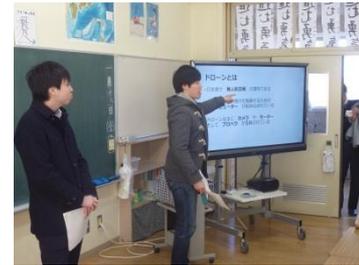
南相馬市小高小学校（5～6年生）ドローンの概要に関する授業。

・11月1日

南相馬市原町第二中学校（1年生）ドローン仕組み、操縦等の授業。

・11月21日、12月12日、1月18日

南相馬市原町第一小学校（5年生）ドローンの概要、操縦、プログラミングの授業。



## 今年度の成果

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻鈴木・土屋研究室は無人航空機（ドローン）に関する研究・教育を推進している。一方で、学外に対するドローンに関する啓蒙教育の重要性を認識するとともに、ドローンは初等・中等教育で始まろうとしているプログラミング教育に最適な教材であると考えている。これを実践するため、講義科目「東大ドローンプロジェクト」において小中学校へ出向いた教育の実践を始めたところである。本年度は、教育内容の立案、指導用プログラムの作成を行い、南相馬市の小中学校と連携しつつ、市内の学校で出張授業を行った。南相馬市との連携協定により、ドローンの研究・教育・産業振興へと繋げていく足掛かりを得た。

